

【小学校 5年生】

発 達 段 階 に 応 じ た 目 標
○地域の防災体制や防災設備の理解 ・ 地域や行政の震災時における情報伝達方法や防災設備の役割について理解する。
○自己の安全確保 ・ 日常生活の様々な場面において、自らの判断で危機を回避することができる。 ・ 地震発生の際におけるけがを防止すると共に、簡単な応急手当の方法を知る。
○リーダー性の育成 ・ 自己の安全と共に、周囲の人の安全にも配慮することができる。 (災害時には、進んで下級生の面倒をみることができる。)

〈各教科等における主な関連内容〉

教科等	単元名	取り扱いの一例
○国語	ふさわしい方法を選んで発表しよう	・ テーマの中に「地震や津波が起きた際のニュースの内容」を取り入れ、その状況にふさわしい言葉や言い方を考えさせる。
○社会	水産業のさかんな県 社会を変える情報 自然災害を防ぐ	・ 水産業に従事する中で、津波の被害を乗り越えてきたことや津波の危険性もあることも理解させる。 ・ 生活の中の情報の中で、市の行政防災無線を取り扱い、津波警報や注意報について教える。 ・ 津波を防ぐために防波堤や防潮堤などがあることを理解させるとともに、節水など自らができることを考える。
○算数	割合と百分率	・ 各県の被災した方々の割合を求め、比較する。
○理科	流れる水のはたらき	・ 洪水や津波から街を守るために護岸工事や防潮堤工事があることを紹介する。
○保健	けがの防止	・ 地震がきたらどんなけがをする可能性があるのか、またそれを防ぐためにはどうしたらいいのかを考えさせる。
○家庭	おいしいね毎日の食事 ごはんのみそ汁を作ってみよう 物を生かして住みやすく 身の回りを使いやすくしよう	・ 地震や津波が発生した場合には“炊き出し”とあって避難場所で自分たちが食事を作ることが必要であることを理解させる。 ・ 調理実習中に地震が発生した場合の対処の仕方を教える。 ・ 活動例として「地震から身を守るための部屋の整理の仕方」を考える。
○道徳	くずれ落ちた段ボール箱 〔思いやり、親切〕	・ 価値に迫る話題として、東日本大震災の際の小学生の避難所での活躍に触れ、相手の気持ちに立って行動する大切さを伝える。
○特別活動	地震と災害・避難の仕方	・ 地震や津波が発生した時の行動の仕方、注意事項、約束を知る。 ・ 学校以外の場所にいた場合の具体的な避難の仕方を考える。
○総合	感動！自然探検隊	・ 花山自然教室の際に宮城・岩手内陸地震が起きたことに触れ、自然教室の最中に地震が発生した際の行動の仕方を伝える。